



中央農業高校 校長室だより 特集号

— 命はぐくむ学びの風景 —

神奈川県立中央農業高等学校 校長 岩崎秀太

「挑戦する力」と「伝える力」を育む発表会

6月9日（火）、海老名市文化会館において、「令和8年度 中央農業高等学校農業クラブプロジェクト発表・意見発表会校内大会」を開催しました。

当日は、各学科・各専攻の代表生徒が、日頃の学習や研究活動の成果、そして農業や地域社会に対する自らの考えを発表しました。会場となった文化会館のホールには、生徒たちの熱意と緊張感が漂い、一人ひとりが真剣な表情で発表に臨む姿が大変印象的でした。

プロジェクト発表では、課題研究や実習を通して取り組んできた内容について、目的や方法、成果、今後の展望を分かりやすく発表しました。農業の専門的な知識や技術だけでなく、課題を発見し解決する力、仲間と協力して取り組む力が十分に発揮されていました。



や学科、農場に関する問題が出題され、正解者には景品も用意されるなど、会場は大いに盛り上がりました。生徒たちが楽しみながら学校への理解を深めるよい機会となりました。

また校歌斉唱、そしてFFJの歌の斉唱では、生徒たちの力強い歌声がホールいっぱいに響き渡りました。特に校歌を全校生徒が声高らかに歌う姿は、中央農業高校生としての誇りと連帯感を感じさせるものであり、大変頼もしく感じました。

今回の大会では、神奈川県畜産技術センターの前田様に審査長として、また、かながわ農業アカデミーの相原様に審査員としてご協力いただきました。専門的な視点からご指導とご助言を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。



また、意見発表では、自身の経験や農業に対する思い、地域社会への提言などを堂々と発表しました。発表者それぞれの個性が表れ、聞く人の心に響く内容ばかりでした。農業高校生としての誇りや将来への夢、地域への思いが込められた発表に、私自身も大きな感銘を受けました。

発表の合間に行われた審査時間も、大変有意義な時間となりました。まず、神奈川県高校総体5000メートル競歩で第4位となり、関東大会に出場する農業総合科2年の葛西俊毅さんの壮行会を行いました。全校生徒から大きな拍手と激励が送られ、葛西さんへの期待の大きさを感じました。

さらに、農業クラブ本部役員生徒による中央農業高校に関するクイズ大会も開催されました。学校の歴史



審査の結果、プロジェクト発表3チーム、意見発表3名が、7月10日に横浜市のJAビルで開催される神奈川県大会へ出場することとなりました。県大会を勝ち抜くと、8月に栃木県で開催される関東大会、さらに10月に徳島県で開催される日本学校農業クラブ全国大会南四国大会へとつながります。

選ばれた皆さんには、中央農業高校の代表として自信を持って発表し、これまでの学習成果を存分に発揮してほしいと思います。また、今回出場した全ての生徒が、この経験を今後の学習や進路実現に生かしてくれることを期待しています。



「命はぐくむ」の理念のもと、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。
神奈川県立中央農業高等学校